

【調査レポート】

沖縄県内における 2012 年プロ野球春季キャンプ経済効果の予想  
過去最高となった前年と同水準（約 85 億円）を予想

1. 2012 年の春季キャンプについて

2012 年 2 月に沖縄県内で春季キャンプを実施する国内プロ野球の球団は、前年同様の 10 球団となる。前年に引き続き、読売巨人軍が県内でキャンプを実施するほか、横浜 DeNA ベイスターズの誕生や阪神タイガースが全期間を通して県内でキャンプを実施するなどの新しい話題がある。

当社では、過去のデータを基に各関係者へのヒアリングを実施するなどして、今年の経済効果について予想した。多くの県民が、県内各地で行われるプロ野球キャンプ地に出向き球団、選手を応援することが期待される。

2. 経済効果の予想について

(1) 観客数の予想

今年の県内における春季キャンプも前年同様に話題にあふれている。まず、前年に引き続き、読売巨人軍が那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇でキャンプを実施することが挙げられる。前年同様に多くの屋台が設けられることに加えて、前年より練習日数が 1 日多くなることなどから大きな盛り上がり期待される。次に、新たに横浜 DeNA ベイスターズの誕生があり、中畑新監督の動向にも大きな注目が集まる。また、阪神タイガースのキャンプ期間の増加がある。前年までは、前半に宜野座村でキャンプを実施し、後半に県外（高知県安芸市）で実施していたが、今年は全期間を通して宜野座村でのキャンプとなることから大きな集客効果が期待できる。さらに、前年リーグ優勝の中日ドラゴンズや栗山新監督の日本ハムファイターズの動向などにも大きな注目が集まる。

一方で、前年と比較するといくつかの観客の減少要因が想定される。前年は全国的に大フィーバーとなった日本ハムファイターズ・斉藤投手の入団効果が、今年は 2 年目となりフィーバーがおさまっていることやダルビッシュ投手をはじめとした有力選手の大リーグへの移籍などがある。

これらのことを踏まえ、当社において過去のデータを基に各関係者へのヒアリング等により今年の沖縄県内でのキャンプにおける観客数を予想すると、前年並みの 25 万人程度になるものとみられ、そのうち県外からの観客数も前年同様に 4 万人程度になるものと予想される。

## 観客数の予想

	2011年	2012年の予想
球団数	10球団	10球団
全体の観客数	25万3,000人	<b>約 25万人</b>
うち県外客数	4万3,000人	<b>約 4万人</b>

## (2) 経済効果の予想

経済効果については、観客による宿泊や飲食、選手・球団関係者、マスコミなどの県内滞在による消費支出、地元協力会の出費などの直接支出額について試算し、これを基に沖縄県産業連関表を用いて関連する産業に波及する効果を試算し、経済効果を求める。

今年は、前年並みの観客数が予想されることや球団数も10球団と前年同様であることなどから、直接支出額も前年と同水準の54億円となるものとみられ、経済効果についても過去最高となった前年と同水準の約85億円が見込まれる。

## 経済効果の予想

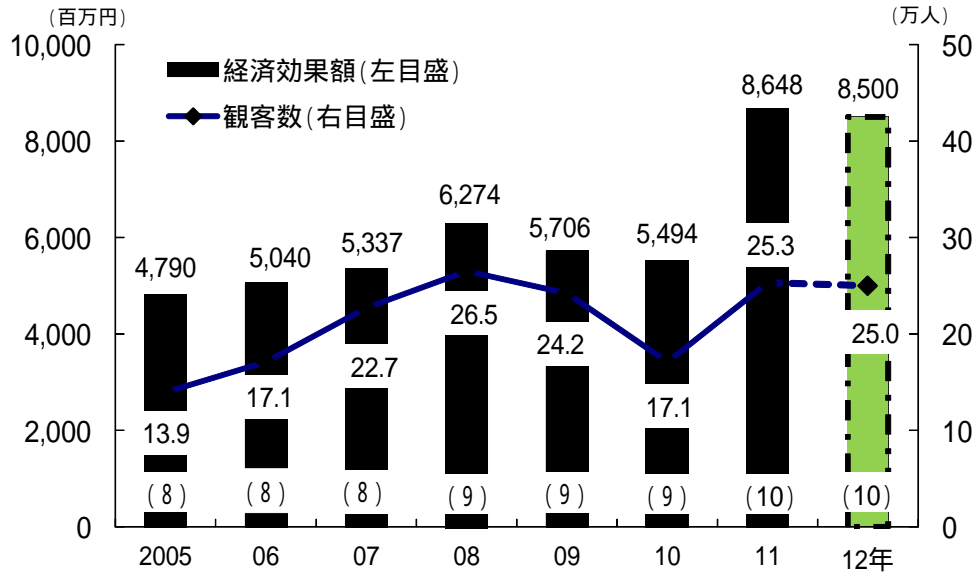
	2011年	2012年の予想
球団数	10球団	10球団
直接支出額	54億5,000万円	<b>約 54億円</b>
経済効果	86億4,800万円	<b>約 85億円</b>

## 3. おわりに

今年の県内におけるプロ野球春季キャンプは、前年に引き続きプロ野球球団の全12球団中10球団が県内でキャンプを実施することになる。キャンプ期間中は選手、球団関係者の滞在だけでなく、県外からも多くの集客があることから、キャンプは県のスポーツコンベンションに大きく貢献しており、今年も過去最高となった前年のような経済効果が期待できる。

しかし、一方で先述したような観客の減少要因なども一部予想されることから、前年同様な効果が得られるよう1人でも多くの県民がキャンプに出向き、キャンプを盛り上げていくことが必要である。

プロ野球春季キャンプの経済効果と観客数の推移



( )内は沖縄県内でキャンプを実施する国内プロ野球の球団数

以上